

第7回全九州高等学校総合文化祭大分大会 放送部門
第45回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会 大分大会

実施要項

1 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望を持つ人間としての成長をめざし、あわせて、九州地区における校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる。

2 ねらい

- (1) 美しく豊かな日本語を大切にする心情を育て、あわせて、話す力、表現する力を高める。
- (2) 校内マスコミの送り手としての自覚と創造性を育てる。
- (3) 学校生活の中におけるおいをもたらす、心のふれあいの場をつくる。
- (4) 現代社会における人としてのあり方、生き方を学ぶとともに、放送のはたす役割を考える。
- (5) 九州地区における校内放送活動の向上をはかる場をつくる。

3 主催 九州高等学校文化連盟 大分県高等学校文化連盟

4 共催 NHK大分放送局

5 主管 九州高等学校文化連盟放送専門部 大分県高等学校文化連盟放送専門部

6 部門会場 別府国際コンベンションセンター B-CON PLAZA
〒874-0828 別府市山の手町12番1号
TEL 0977-26-7111 FAX 0977-26-7100

7 事務局 大分県高等学校文化連盟 放送専門委員長 齋藤 龍一
〒870-0938 大分市今津留1丁目19番1号 大分県立大分舞鶴高等学校
TEL : 097-558-2268 / FAX : 097-558-2293
Mail : saitou-ryuuichi@oen.ed.jp

8 問い合わせ先 全九州高等学校総合文化祭大分大会 放送部門実行委員会運営委員長 池田耕三
〒870-1155 大分県大分市大字玉沢1250番地 大分県立大分雄城台高等学校
TEL : 097-541-0123 / FAX : 097-541-3654
Mail : ikeda-kouzou@oen.ed.jp

9 大会日程 令和5年12月8日（金）～10日（日）

	時 間	概 要	会 場 B-CON PLAZA
8 (金)	13:00～16:40	放送部門受付	1F エントランスホール
	15:30～16:50	運営委員会（開催県・各県代表）	会議場棟 B1F 小会議室 2・3
	17:00～18:00	審査委員会	会議場棟 B1F 小会議室 2・3
9 (土)	9:00～9:30	放送部門受付（12/8 未受付分）	1F エントランスホール
	9:05～9:25	開会行事 (1) 開会のことば (2) 主催者挨拶 (3) 別府市長挨拶 (4) 審査員紹介 (5) 優勝杯返還・レプリカ授与	フィルハーモニアホール
		諸注意・諸連絡	
	9:40～12:50	アナウンス部門準決勝	会議場棟 2F レベションホール
	9:50～17:00	ラジオ番組部門準決勝	会議場棟 3F 小会議室 31
	9:50～17:00	テレビ番組部門準決勝	フィルハーモニアホール
	13:20～16:50	朗読部門準決勝	会議場棟 2F レベションホール
	17:20～18:00	生徒交流会（校内放送活動研究集会①）	フィルハーモニアホール
10 (日)	8:00	決勝進出者・決勝進出作品発表	大会ホームページで発表 開場後、会場入口に掲示・ 各県代表顧問に配付（大会本部）
	9:00～9:20	決勝出場受付（全部門）	1F エントランスホール
	9:50～10:50	アナウンス部門決勝	会議場棟 2F レベションホール
	9:50～12:00	ラジオ番組部門決勝	会議場棟 3F 小会議室 31
	9:50～12:00	テレビ番組部門決勝	フィルハーモニアホール
	11:00～12:10	朗読部門決勝	会議場棟 2F レベションホール
	12:20～12:50	講評（校内放送活動研究集会②）	フィルハーモニアホール
	13:00～13:40	閉会行事 (1) 成績発表・表彰 (2) 主催者挨拶 (3) 次期開催県挨拶（福岡県） (4) 閉会のことば	フィルハーモニアホール
各種配付（表彰状・講評用紙）		1F エントランスホール	

10 コンテスト実施部門・エントリー数・決勝進出数

部門	エントリー数	決勝進出数
アナウンス	72名（各県8名 ただし、福岡県・開催県は12名）	20名程度
朗読	72名（各県8名 ただし、福岡県・開催県は12名）	20名程度
ラジオ番組	40作品（各県5作品）	10作品
テレビ番組	40作品（各県5作品）	10作品

11 表彰

	アナウンス	朗読	ラジオ番組	テレビ番組
優勝	1名	1名	1作品	1作品
	優勝杯・賞状			
準優勝	1名	1名	1作品	1作品
	トロフィー・賞状			
第3位	1名	1名	1作品	1作品
	トロフィー・賞状			
優良賞	各部門決勝進出者17名程度		各部門決勝進出7作品	
	賞状			
奨励賞			各部門5作品	
			賞状	
入賞 (全参加者)	全エントリー			
	賞状			

12 校内放送活動研究集会

各部門についての講評及び研修と九州各県高校放送部活動の報告などを実施し、文化交流を深める。

13 参加資格

- (1) 開催年の12月現在、九州各県高等学校文化連盟加盟校に在学する生徒（ただし高等学校最終学年及びそれに該当する学年を除く）。また、以上の生徒が制作した作品に限る。
- (2) 各部門への参加は、各県高等学校文化連盟放送専門部の推薦によるものとする。
- (3) アナウンス・朗読部門への参加は、1名1部門とする。
- (4) 番組部門への参加は、1校1作品とする。ただし各県大会については、その限りではない。
- (5) 他のコンテストに出品した作品は、本大会に参加できない。また、本大会に出品した作品を、他のコンテスト等へ出品することは認めない。

14 各部門の課題・参加規定

(1) アナウンス部門

- ① 自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。
- ② エントリー番号・氏名を含め、1分10秒以上、1分30秒以内でアナウンスする。
*学校名は読まず、エントリー番号に続けて、発表者の氏名を読む。

③ 審査基準

(A) 校内放送に使用できる内容であること

(B) 審査の視点

◆内容

(ア) 素材の選び方は適切であるか。

(イ) 文章表現は適切であるか。

◆アナウンスの技術

(ア) 自然な発声で、ニュースが聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。

・発声・発音・マイクの使い方

・歌い上げ・作り声など、不自然なアナウンスは高く評価しない。

(イ) 意味を正しく伝える抑揚表現ができていないか。

・内容把握・プロミネンス・アクセント・イントネーション

(ウ) 間（ポーズ）は適切か。

・テンポ・ポーズ

(C) 100点法で総合的に採点する。

(2) 朗読部門

①次の指定課題4作品から1作品を選び、朗読する。作品の脚色は一切認めない。

作品番号	1	2	3	4
書名	ミゲル・ストリート	廉太郎ノオト	ナミヤ雑貨店の奇蹟	野良猫を尊敬した日
著者名 (訳者名)	V.S. ナイポール (小沢自然・小野正嗣)	谷津矢車	東野圭吾	穂村 弘
出版社	岩波文庫	中央公論新社	角川文庫	講談社文庫

②エントリー番号・氏名・作者名・作品名を含め、1分30秒以上、2分00秒以内で朗読する。

※学校名は読まず、エントリー番号に続けて、発表者の氏名・作者名・作品名を読む。

※作品番号1の著者名は、「ナイポール」と読むこと。

※作品番号4の作品名は、「短編名」ではなく「書名」を読むこと。

※抽出は文頭から開始し文末で終了すること。一文途中での開始や終了は「改変したもの」とみなす。

本文中の（ ）内は省略してはいけない。

③審査基準

(A) 審査の視点

◆内容

(ア) 作品の選定は適当であるか。

(イ) 朗読として適切な部分を抽出しているか。

◆朗読の技術

(ア) 自然な発声で、場面や心情が聞き手に伝わるように朗読しているか。

・発声 ・発音 ・マイクの使い方

・演劇調など、過度に演出されているものは高く評価しない。

(イ) 意味を正しく伝える抑揚表現ができているか。

・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション

(ウ) 間 (ポーズ) は適切か。

・テンポ ・ポーズ

(B) 100点法で総合的に採点する。

(3) アナウンス部門・朗読部門に共通する事項

① 原稿3部を、後述の「15 参加申込／各部門提出物／締切一覧」で指定した期日までに提出する。ただし、原稿は返却しない。

② 規定の用紙(様式1-1, 1-2)を使用し、袋とじ(仕上りA5判)とする。第1頁を表紙とし、本文は、第2頁以降に記入する。表紙の部門名上部の○を指定の色で塗りつぶす。アナウンスは「青」、朗読は「赤」とする。

③ 準決勝・決勝ともに、各自の原稿に、大会パンフレット記載の「課題原稿」を加えて発表する。

(4) ラジオ番組部門

① 作品は、6分30秒以上、7分00秒以内とする。

② 作品の最後に「制作は〇〇高校放送部(委員会)でした」とクレジットコールを入れる。

③ クレジットコールには、BGM・SEなど他の音声が重なってはいけない。

④ 計時は、最初の音からクレジットコールの終わりまでとする。

⑤ 作品は、指定された様式に「学校名」「作品名」を入れた静止画を貼り付けた動画 mp4形式とする。

⑥ 番組進行表の表紙上部の○枠は「赤」で塗りつぶす。

⑦ 作品データは、大会実行委員会が定めた Youtube チャンネルにアップロードし、定められた期日までに大会実行委員会に提出する。それが困難な場合は、ディスクやUSBメモリなどに作品データを保存・コピーして郵送する。

⑧ 作品データ・番組進行表は返却しない。

(5) テレビ番組部門

- ① 作品は、7分30秒以上、8分00秒以内とする。
- ② アスペクト比は、16:9（ワイド）とする。
- ③ テレビ局等の第三者が撮影した素材を主とする作品は、失格とする。
- ④ 作品の前後5秒間に、規定のテストパターン（様式2）を入れる。テストパターンは、大会ホームページよりダウンロードして使用する。
- ⑤ 計時は、テストパターン（カラーバー）を除いた本編部分について行う。
- ⑥ 作品はMpeg4/H.264 AVCのデータ形式とする。なお、解像度は1080Pまで、作品データの容量は1GB以内とする。
- ⑦ 番組進行表の表紙上部の○枠は「青」で塗りつぶす。
- ⑧ 作品データは、大会実行委員会が定めたYoutubeチャンネルにアップロードし、定められた期日までに大会実行委員会に提出する。それが困難な場合は、ディスクやUSBメモリなどに作品データを保存・コピーして郵送する。
- ⑨ 作品データ・番組進行表は返却しない。

(6) ラジオ番組部門・テレビ番組部門に共通する事項

- ① 高校生活に素材を求めた作品、あるいは高校生活と地域社会とのかかわりを考えた作品で、高校生の視点で描いた独創的な作品であり、それぞれのメディアの特性を生かした作品とする。ドラマ調の場合、出演者は自校生徒、かつ前述の「13 参加資格」の条件を全て満たす者に限る。
- ② 審査基準
 - (A) 校内放送に使用できる内容であること
 - (B) 審査の視点
 - ◆テーマ（伝えたい内容）

高校生ならではの視点で、高校生を取り巻く環境の中からテーマを設定し、それを番組の中で効果的に表現しているか。
 - ◆制作技術
 - (ア)メディア選択 (イ)制作方法 (ウ)取材の方法や努力 (エ)企画・構成
 - (オ)演出・編集 (カ)音声や効果音の使い方 (キ)内容伝達力 (ク)番組進行表の作成
 - (C) 100点法で総合的に採点する。
- ③ 作品のタイトルは、副題も含めて15文字以内を厳守する。
※作品名が英数字のみの場合は、半角文字で最大30文字（スペース含む）までとする。
- ④ 番組進行表は、後述の「18 様式規定」で作成し、「15 参加申込／各部門提出物／締切一覧」で指定した期日までに1部を提出する。
 - 1頁（様式3-1）学校名・作品名・時間・制作意図（200字程度）・スタッフ／キャスト（学年）
 - 2頁（様式3-2）必要枚数を綴じ合わせたCUEシート
 - 3頁（様式3-3）使用著作物一覧※必要に応じ、音源使用許諾（様式3-4）・取材許諾・著作物提供許諾（様式3-5）を添付する。
※必要に応じ、著作権処理確認資料（右上に著作物番号を朱書きする）を添付する。
- ⑤ 作品の中で用いる音楽・絵画・写真等の著作権を伴う著作物については、著作権・著作隣接権の処理を本大会開始までに確実に済ませておく。特に音楽は、自作自演もしくは著作権フリーの楽曲を用いることが望ましい。著作権を伴う著作物については、一覧を番組進行表の末尾に添付する。
- ⑥ いわゆる著作権フリーの音源素材等であっても、インターネット上のものを利用することは厳禁とする。なお、著作権フリー素材とインターネット上の素材の使用については、NHK杯番組部門制作関連資料で定めたものと同じとする。
- ⑦ JASRACへの手続きと支払いは出場校が行い、関係書類のコピーを番組進行表の末尾に添付する。
- ⑧ 参加作品の著作権は、制作者（応募した学校）に帰属する。
- ⑨ 著作物使用等の許諾に関する詳細については、NHK杯要項p.17とNHK杯番組部門制作関連資料の注意事項に準じる。
- ⑩ 様式等については、本大会規定のものを使用する。
- ⑪ 本大会に出品するラジオ番組・テレビ番組の制作意図（番組進行表に記載）は、各県事務局が規定のファイルにまとめて入力し、後述の「15 参加申込／各部門提出物／締切一覧」で指定した期日までに提出する。

⑫ 発表に際しては作品再生前に代表生徒が登壇し、学校名と作品名を紹介する。

15 参加申込／各部門提出物／締切一覧

全部門共通参加申込書
(共通様式2)

- (1) 参加申込など全ての事前提出は、下表に基づいて行う。
 (2) 参加申込には、別紙のエントリー番号を使用する。番号の割り振りは、各県専門部で行う。
 (3) 参加校顧問…下記の①～⑦を、指定の宛先に提出（データ送信／郵送／振込）する。

	内容・様式	宛先	提出方法		提出締切 (必着)
			データ 送信	郵送	
①	学校参加申込データ*	放送部門実行委員会*	○		11/10 金
②	エントリーデータ	各県放送専門部事務局	○		11/20 月
③	アナウンス・朗読原稿3部／番組進行表1部	各県放送専門部事務局		○	各県指定日
④	番組制作意図データ	各県放送専門部事務局	○		11/22 水
⑤	全部門共通参加申込書（共通様式2）	各県高文連事務局		○	11/10 金
⑥	宿泊・弁当代金納入	業者指定口座		口座振込	業者指定日
⑦	ラジオ・テレビ番組作品データ	各県放送専門部事務局	△*	△*	各県指定日

【備考】*①「学校参加申込」は、出場権獲得校の出場意志の表明／確認等に利用する。
 *①の宛先（放送部門実行委員会）は、1ページの「問い合わせ先」です。
 *⑦の提出方法については、各県放送専門部事務局の指示に従ってください。

(4) 各県放送専門部事務局担当者…下記⑧から⑫を指定の宛先に提出（データ送信／郵送）する。

	内容・様式	宛先	提出方法		提出締切 (必着)
			データ 送信	郵送	
⑧	全九州高校総文祭推薦書（共通様式1）*	各県高文連事務局	○		各県指定
⑨	ラジオ・テレビ番組作品データ	放送部門実行委員会*	○		11/30 木
⑩	エントリーデータ（〇〇県）	放送部門実行委員会*	○		11/22 水
⑪	番組制作意図データ（〇〇県）	放送部門実行委員会*	○		11/24 金
⑫	アナウンス・朗読原稿／番組進行表（〇〇県）	放送部門実行委員会*		○	11/29 水

【備考】*⑧の提出→各県高文連から出場校に派遣依頼を送付→⑤の提出→開催県高文連が取りまとめるという流れ
 *⑨番組作品データは、放送部門実行委員会の指定したYoutubeチャンネルにアップロードして提出する。
 *⑨⑩⑪⑫の宛先（放送部門実行委員会）は、1ページの「問い合わせ先」です。

16 宿泊等申込について

九州高総文祭事務局設置の宿泊サポート 名鉄観光

17 エントリー番号一覧

県名	アナウンス	朗読	ラジオ番組	テレビ番組
福岡	7 10 18 21 28 34 38 46 53 58 63 66	6 14 18 24 27 31 34 45 50 58 61 69	5 9 22 32 36	4 16 21 29 33
大分	8 13 16 20 27 36 40 44 48 57 62 67	1 9 11 19 25 35 41 48 53 60 64 72	2 13 18 29 39	7 12 17 28 38
佐賀	6 12 26 30 41 50 61 65	2 15 21 30 43 52 62 70	8 14 19 27 34	2 15 22 27 37
長崎	4 17 25 32 37 52 55 69	5 10 29 36 40 47 59 66	1 16 21 25 33	3 9 18 31 40
熊本	2 14 22 35 42 49 56 72	8 17 26 33 37 46 56 67	4 10 24 30 35	8 10 19 24 39
宮崎	1 11 23 31 45 51 60 71	4 13 20 28 38 54 63 71	6 12 23 31 38	5 14 23 26 34
鹿児島	5 15 24 33 39 47 59 68	7 16 22 32 42 49 55 68	3 15 20 28 37	1 11 25 32 36
沖縄	3 9 19 29 43 54 64 70	3 12 23 39 44 51 57 65	7 11 17 26 40	6 13 20 30 35

18 様式規定

	様式番号	内容
規定1 アナウンス・朗読	1-1	表紙(右頁)・原稿用紙(左頁)
	1-2	アナウンス・朗読部門 原稿用紙
規定2 テレビのみ	2	テストパターン/カラーバー
規定3 ラジオ・テレビ 番組進行表	3-1	表紙(制作意図・スタッフ・キャスト・確認欄)
	3-2	CUEシート
	3-3	使用著作物一覧
	3-4	音源使用許諾申請書(参考様式)
	3-5	取材許諾・著作物提供許諾申請書(参考様式)
	*規定3は全てA4サイズ。左上1箇所をホチキスで綴じる。両面印刷不可。	
規定4 ラジオのみ	4	ラジオ音声を動画化するための「学校名」「作品名」を入れた静止画様式

*上記の規定様式は、第45回九州高校放送コンテスト公式ホームページ(開設予定)からダウンロードできます。